

## 次期鳥取県中部地域公共交通計画の策定等の進捗状況について

## I 次期鳥取県中部地域公共交通計画の策定に係る進捗状況について

## (1) 「地域公共交通計画」とは？

「地域にとって望ましい旅客運送サービスの姿」を明らかにするマスタープランの役割を果たすものであり、地方公共団体が地域の移動に関する関係者を集めて法定協議会を開催しつつ、交通事業者や地域の関係者等との協議を重ねることで作成するもの。

## (2) 現状

鳥取県中部地域公共交通計画	鳥取県中部地域公共交通利便増進実施計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 策定 平成30年3月</li> <li>● 計画期間 平成30年4月～令和7年3月末（7年間）</li> <li>● 位置付け 公共交通に関するマスタープラン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 策定 令和元年6月策定（令和3年6月一部改正）</li> <li>● 計画期間 令和元年10月～令和7年3月末（5年6か月間）</li> <li>● 位置付け 公共交通の利便性向上に関するアクションプラン</li> </ul>

## (3) 次期計画の策定に向けたこれまでの取組と今後の予定について

## ア 令和5年度の主な取組

## (ア) 高校アンケート

- ・対象：中部圏域の高等学校 9校
- ・期間：令和5年11月
- ・内容：始業・終業時刻、全校生徒数、バスやJRでの通学生徒数、自家用車通学の可否、スクールバスの有無、公共交通に関する要望事項 等

## (イ) 高校生アンケート

- ・対象：中部圏域の高等学校9校に在籍する高校2年生とその保護者
- ・期間：令和6年1月15日～2月16日（1か月間）
- ・回答数：597件（回収率 約85%）
- ・内容：（生徒向け）通学手段、路線バス・JR利用の有無、「通学スタイル」について 等  
（保護者向け）通学時の自家用車送迎、通学時の定期利用や割引制度について 等

## (ウ) 住民アンケート（集計中）

- ・対象：中部圏域の6,000世帯
- ・期間：令和6年2月中旬～3月31日

・回答数：2,443 件（回収率：約 41%）

・内容：通勤通学・定期通院・買物に関すること、公共交通機関利用の状況、免許返納に関すること、今後望む公共交通施策について 等

(エ) 第 1 回交通事業者 WG（令和 6 年 2 月 20 日）

イ 令和 6 年度の策定スケジュール

内 容	令和5年度	令和6年度												令和7年度	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		4月
現行計画関係 (国庫補助運動に係る改定)		現行の地域公共交通計画期間（～R7.3.31）													
	関係者からのデータ提供、改定案作成→協議会で審議 (※R5第2回協議会で承認済)	パブコメ	協議会→ 国に提出	バス国庫補助手続きに係る審議（6月末、11月、1月上旬ほか年に数回書面開催で実施予定）											
次期計画 策定関係	概況調査、 計画案の 作成等	アンケート実施 ・住民 ・高校生とその保護者	アンケート結果集計、 各種ヒアリング (交通事業者、観光、医療機関等)	反映 ↓	調査結果の収集・分析	骨子案 作成	素案作成	最終案 作成	次期計画公表→新計画 に基づく事業実施、利 便増進実施 計画の検討						
	協議会 開催		協議会				協議会		協議会		協議会				
	交通事業 者・行政 担当者WG	第 1 回 交通事業者WG (R6. 2. 20)	随時、担当者レベルのワーキンググループ開催 (適宜、交通専門家やコンサルから助言をもらいながら検討を進める)												
	議会への 説明、住民 等の意見 反映												議会報告、 パブコメ 実施	議会 報告	

## 2 鳥取県立美術館の開館に向けた（仮称）打吹ループバスの導入検討状況について

### 倉吉市周遊滞在型観光地モビリティ向上計画に基づく令和6年度の取組（追加）



#### 1) 令和6年度事業の目的とモビリティ向上計画に基づく各施策の具体的な取組（9月補正検討中）

##### 令和6年度事業の目的

令和7年春の鳥取県立美術館の開館を見据え、令和3年度から昨年度にかけて、グリーンスローモビリティ等の新たなモビリティを活用した暮らしよし倉吉らしい周遊滞在型の観光まちづくりを検討してきたところ。

令和7年春の鳥取県立美術館の開館を目前に控え、令和6年度は、モビリティ向上計画に基づき、グリーンスローモビリティの実装に加え、ループバスの導入を図り、モビリティ向上を基軸とした『暮らしよし倉吉』らしい周遊滞在型のまちづくりを推進する。

モビリティ向上計画に  
基づく課題解決の方向性

### 心ときめく出会いを生む モビリティ向上を基軸とした 周遊滞在型観光地づくり

#### モビリティ向上の方向性と施策

##### 1. 周遊滞在エリア全体での 観光周遊を支援する 移動環境をつくる

【交通体系づくり】

R6  
事業

##### 1. 交通体系づくり

- 1) ①散策ルート等の案内標示の整備
- 1) ⑥路側活用による速度抑制の実証  
〔ゆくりを軸としたまちづくり〕（SIP\*）
- 2) ②観光駐車場の満空情報の提供
- 2) ③④観光駐車場の案内標示の整備
- 2) ⑤鍛冶町観光駐車場の再整備
- 3) ①ループバスの導入検討
- 3) ②県立美術館前バス停留所の整備
- 4) ①②グリーンスローモビリティの導入
- 4) ③運行エリア等の案内標示の設置

##### 2. 観光客が利用したくなる 周遊モビリティをつくる

【魅力づくり】

R6  
事業

##### 2. 魅力づくり

- 1) ①周遊滞在エリアの観光マップの作成
- 2) ②乗降場所等の案内標示の設置
- 2) ④デジタルサイネージ（タブレット）設置
- 2) ⑤デジタルマップ（ここいこマップ）  
による運行情報の提供
- 3) ①グリスロ観光ツアーの実施
- 4) ①車両ラッピングの実施

##### 3. 地域関係者の連携により、 持続性を備え、親しまれる 周遊モビリティをつくる

【地域連携強化】

R6  
事業

##### 3. 地域連携強化

- 1) ①事業スキームの検討・調整  
・運行管理者の育成  
・U-MOサポートドライバー（住民  
による有償ボランティア）の確保  
・自家用有償運送の活用（準備）  
・運行管理計画の策定
- 2) ①地域住民おでかけツアーの実施
- 2) ②事業スキームの検討・調整  
・福祉事業所による移動販売の実証  
・広告会社による車内広告等の実証

（黒字）：「令和6年度共創・MaaS実証プロジェクト」の取組

※SIP：「内閣府総合科学技術・イノベーション会議が統括している戦略的イノベーション創造プログラム」の略

## 2 鳥取県立美術館の開館に向けた（仮称）打吹ループバスの導入検討状況について 倉吉市周遊滞在型観光地モビリティ向上計画に基づく令和6年度の取組（追加）



### 2) 打吹つながるモビリティ・打吹ループバス（仮称）の運行計画（案）

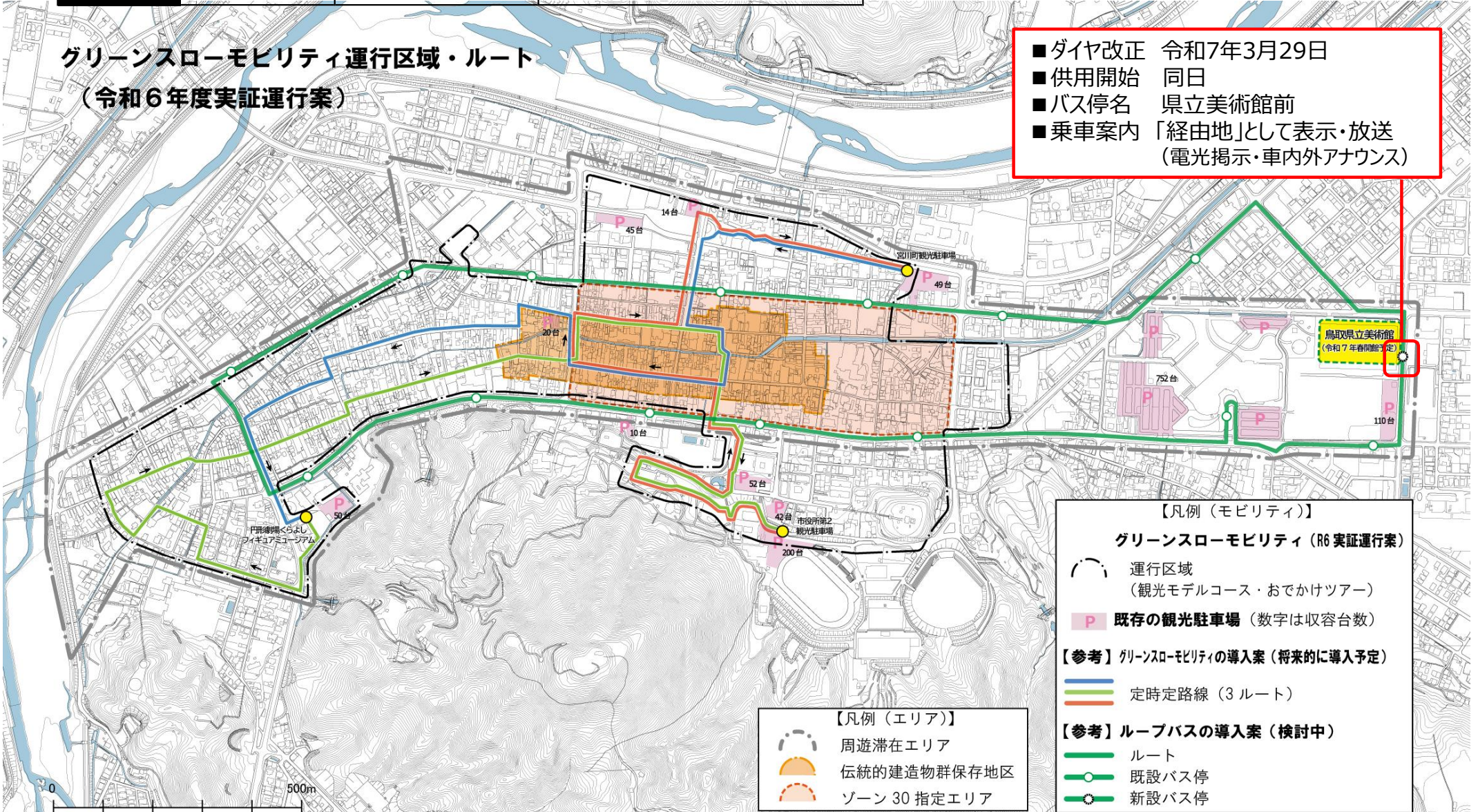
運行条件	運行日数	120日	R7.3.30～R8.3.29の土日祝日
	運行便数	12便	10時～16時・30分間隔
	系統距離	5.7km	1周・反時計回り

【運行事業者・4条運行】  
日本交通(株)・日ノ丸自動車(株)

1年向10,000人定

#### グリーンスローモビリティ運行区域・ルート （令和6年度実証運行案）

- ダイヤ改正 令和7年3月29日
- 供用開始 同日
- バス停名 県立美術館前
- 乗車案内 「経由地」として表示・放送  
（電光掲示・車内外アナウンス）



- 【凡例（モビリティ）】
- グリーンスローモビリティ（R6 実証運行案）
  - 運行区域  
（観光モデルコース・おでかけツアー）
  - P 既存の観光駐車場（数字は収容台数）
  - 【参考】グリーンスローモビリティの導入案（将来的に導入予定）
  - 定時定路線（3ルート）
  - 【参考】ループバスの導入案（検討中）
  - ルート
  - 既設バス停
  - 新設バス停

- 【凡例（エリア）】
- 周遊滞在エリア
  - 伝統的建造物群保存地区
  - ゾーン30指定エリア

## 2 鳥取県立美術館の開館に向けた（仮称）打吹ループバスの導入検討状況について 倉吉市周遊滞在型観光地モビリティ向上計画に基づく令和6年度の取組（追加）



### 3) 打吹つながるモビリティ・打吹ループバス（仮称）の導入スケジュール（案）

#### 令和6年度事業スケジュール

実施項目	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	～9月	10月	～12月	3月
補正予算計上	議会 →										
運行管理計画の検討・策定		検討・策定 →									
運行準備の実施		契約・発注・準備 →									
運行・駐車場情報等の発信		契約・発注・準備 →						情報発信 →			
実証運行の実施								実証運行 →			
継続運行の検討・方針決定									検討・方針決定 →		